

令和6年度

海南省地域防災活動支援事業 実績報告

～ 塩津地区 ～



海南省

CONTENTS

概要

| | | |
|---|--------------|---|
| 1 | 事業の趣旨 | 1 |
| 2 | 地域の概要（特性・課題） | 1 |
| 3 | 事業の目的 | 1 |
| 4 | 事業の実施体制 | 2 |

重点地区（塩津地区）防災訓練

| | | |
|---|-------|---|
| 1 | 概要 | 3 |
| 2 | 訓練の様子 | 3 |

海南市防災訓練

| | | |
|---|------------|----|
| 1 | 概要 | 6 |
| 2 | 訓練結果 | 7 |
| 3 | 訓練ポスター・チラシ | 8 |
| 4 | 訓練の様子 | 10 |

概要

1. 事業の概要

人口減少や高齢化、地域の担い手不足が進む中、甚大な被害が想定される南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、自主防災組織など各地域での「共助」の取り組みは不可欠である。

今回は、市内全域を対象とした訓練に加え、地震・津波災害を想定した取り組みの重点地区を沿岸部の塩津地区とし、自主防災組織が災害時に実効性のある活動ができるよう、行動マニュアルを作成し、訓練等を通じて検証し、修正を図る。完成後は今後も継続して実施できるように、地区内の地域住民で共有するとともに、市内全域に作成のノウハウや実施プロセス等を継承し、市内全域に水平展開できるように取り組む。

2. 地域の概要（特性・課題）

本市は、西側に紀伊水道に面し、最大規模の被害が想定されている南海トラフ巨大地震においては、最大で8m、平均で6mの津波高が予想され、死者4千人、建物全・半壊率58%の甚大な被害が想定されている。

今回、重点地区として訓練を実施する「塩津地区」は、漁業で栄えた地区であり、和歌浦湾を臨む斜面に家屋が数多く建ち並び、地震・津波による甚大な被害が想定される地区のひとつである。

また、同地区は令和6年11月末現在、人口416人、高齢化率は55.0%と本市全体と比べて、17.1%高く、市内でも特に高齢化が進んでいる地区である。

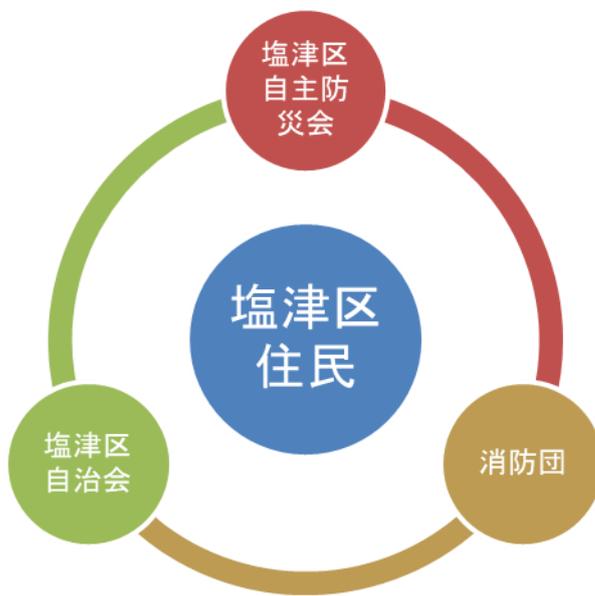
3. 事業の目的

自主防災組織が消防団員などの地域関係者と連携し、災害時により実効性のある活

動ができるよう、役割や行動の内容、手順等を理解するとともに、「行動マニュアル」の作成により組織の防災活動の内容を継承し、地域の防災活動が継続して実施できることを目指す。

4. 事業の実施体制

地域の各団体が互いに連携・協働し、担い手を育成



重点地区（塩津地区）防災訓練

1. 概要

訓練では、南海トラフ巨大地震を想定し、災害対策本部運営訓練、津波避難訓練、安否確認訓練、避難所運営訓練を実施。

訓練前に、地域の自主防災組織が災害時の行動マニュアルを作成。いざというときに、いつ、だれが、どのような行動をとるかをまとめ、マニュアルに沿って訓練を実施。実施後、課題や問題点を洗い出し、マニュアルの修正を行った。

日時：令和6年11月10日（日） 午前9時00分～

想定：午前9時00分 南海トラフ巨大地震発生

午前9時02分 大津波警報発表

場所：津波避難訓練・安否確認訓練 塩津地区全域

災害対策本部運営訓練・避難所運営訓練 旧塩津小学校（塩津公民館）

2. 訓練の様子

2.1. マニュアル作成事前協議



協議（1回目）



協議（2回目）

2. 2. 災害対策本部運営訓練



トランシーバーを用いた安否情報の集約



ホワイトボードへの安否情報掲示

2. 3. 津波避難訓練・安否確認訓練



親子で避難する地域住民



要配慮者の避難介助



防潮堤を閉鎖する消防団員ら



津波避難場所（寺）に避難する児童



地区の担当者による安否確認

2. 4. 避難所運営訓練



段ボールベッドの組立



防災行政無線（移動系）を用いた通信訓練



炊き出し訓練



訓練の振り返り

海南市防災訓練

1. 概要

南海トラフ地震に備え、全市民対象に避難カードの作成を呼びかけるとともに、津波浸水区域内では津波避難訓練及び安否確認訓練、津波浸水区域外では安否確認訓練等を実施。

日時：令和6年11月10日（日）9時00分～

想定：午前9時00分 南海トラフ巨大地震発生

午前9時02分 大津波警報発表

内容：◆避難カードの作成 ◆津波避難訓練（沿岸部）

◆安否確認訓練（沿岸部・内陸部）

◆自宅・事業所内での確認（非常持出品、備蓄品、周辺の危険箇所、家具類の転倒防止対策、避難場所及び家族との連絡方法等）

2. 訓練結果

2.1. 避難訓練参加人数

| 地区名 | 参加人数 | 地区名 | 参加人数 |
|---------|------|-------|-------|
| 黒江・船尾地区 | 500 | 北野上地区 | 115 |
| 日方地区 | 282 | 南野上地区 | 70 |
| 内海地区 | 303 | 下津地区 | 173 |
| 冷水地区 | 164 | 大崎地区 | 280 |
| 大野地区 | 216 | 塩津地区 | 245 |
| 亀川地区 | 890 | 加茂地区 | 20 |
| 巽地区 | 129 | 仁義地区 | 35 |
| | | 計 | 3,422 |

2.2. 独自訓練の主な訓練内容

- ・ 実施団体数 92 組織
- ・ 主な独自訓練内容

| 地区名 | 主な訓練内容（一部抜粋） |
|---------|--|
| 黒江・船尾地区 | 「無事」カードを活用した安否確認訓練、消火器訓練、地区の備蓄倉庫の点検、非常持ち出し品の確認 |
| 日方地区 | 発電機試用、谷口病院との合同訓練、トランシーバーでの状況確認訓練 |
| 内海地区 | 安否確認訓練、車椅子の方の大津波（5m以上）避難時の対応の検討 |
| 冷水地区 | けが人の発生を想定し、避難所でけが人の対応 |
| 大野地区 | 安否確認訓練、避難誘導訓練、災害時の食事についての講義 |
| 亀川地区 | 発電機の操作、テントの設営、簡易トイレの設置、備蓄品の点検 |
| 巽地区 | 黄色いタオルを使用した安否確認訓練、安否確認訓練、避難カード作成の徹底、災害対策用トイレハウスの組立 |
| 北野上地区 | 安否確認訓練、避難カード作成の徹底、自衛隊の土嚢積みの実演 |
| 中野上地区 | 安否確認訓練、備蓄品、資機材を点検 |
| 南野上地区 | 安否確認訓練 |
| 下津地区 | 安否確認訓練、寝たきり者及び歩行困難者を名簿からピックアップ |
| 大崎地区 | 防災士による講座、発電機・投光器作動確認、無線機通信テスト |
| 塩津地区 | 避難所運営訓練（避難者名簿の作成、段ボールベッドとパーティションの設置、防災無線の通信訓練、炊き出し） |
| 加茂地区 | 安否確認訓練、避難経路の確認と災害が発生した場合を想定して避難時に障害物となる可能性の有る物の調査（電柱、立木、壁 他） |
| 仁義地区 | 災害発生後の役員行動指針の再確認、避難について意見や役割分担について会議 |

3. 訓練ポスター・チラシ

表面

令和6年度

海南市 防災訓練

11/10日
午前9時～

近い将来に発生が予測されている大規模地震に備えて、海南市防災訓練を実施します。
 訓練の事前準備として、災害が起こったときにどこに避難するか、誰に連絡するか、その手段などを具体的に家族や知人、地域の人と話し合い、避難カードの作成と共有をお願いします。
 訓練当日は、防災行政無線や緊急速報メール等による地震や津波発生 of 伝達に合わせて、カードに記載した避難場所への避難訓練を実施しましょう。
 また、地域や事業所では、それぞれの状況にあった独自の訓練にぜひ取り組んでください。

訓練内容

①避難カード作成 (事前準備)
 ②避難訓練
 ③独自訓練

※詳細は広報かいなん 10月号に掲載

| 海南市避難カード | |
|----------|----------|
| 氏名 | |
| 住所 | |
| 生年月日 | 性別 |
| 緊急 ① | ② ③ |
| 連絡先 | |

| 海南市避難カード | |
|----------|----------|
| 氏名 | |
| 住所 | |
| 生年月日 | 性別 |
| 緊急 ① | ② ③ |
| 連絡先 | |

| 海南市避難カード | |
|----------|----------|
| 氏名 | |
| 住所 | |
| 生年月日 | 性別 |
| 緊急 ① | ② ③ |
| 連絡先 | |

| 海南市避難カード | |
|----------|----------|
| 氏名 | |
| 住所 | |
| 生年月日 | 性別 |
| 緊急 ① | ② ③ |
| 連絡先 | |

避難カードを作成しましょう

8

避難カードとは？

災害時に、適時適切な避難行動をとれるように、避難場所や緊急連絡先などをあらかじめ認識しておくためのカードです。

避難カードを事前に記入し、ご家族の非常持出品に加えることで、避難所での受付や安否確認などにも役立てられますので、事前に準備しておくことが大切です。



▶記入例や市ホームページなどを参考にし、避難カードを作成しましょう。

| 海南省避難カード | |
|----------|---|
| 氏名 | 海南 太郎 |
| 住所 | 海南省南赤坂 11 |
| 生年月日 | 平成 17 年 4 月 1 日 |
| 性別 | 男 |
| 緊急連絡先 | ① 自宅 073-482-4111 ② お父さん 090-0000-XXXX ③ お母さん 095-0000-XXXX |

| | | | |
|----------------------------------|--------|-------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | ○高台 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | △△小学校 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | □公民館 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | □公民館 | |
| memo 腎臓の薬を 1 日 1 回服用（お薬手帳に記載） | | | |

●市ホームページ
(避難場所等一覧)



●かいなんマップ



海南省役所

危機管理課

☎073(483)8406

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |

memo

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |

memo

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |

memo

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |

memo

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |

memo

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 地震・津波 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |
| 風水害 | 緊急避難場所 | 和歌山県防災ナビアプリから、お近くの避難先を検索できます。 |
| | 避難所 | |

memo

4. 訓練の様子



黄色いタオルを使用した安否確認訓練



地区で管理する資機材点検



津波緊急避難ビルについて説明する職員



初期消火訓練

令和6年度 海南市地域防災活動支援事業 実績報告

～ 塩津地区 ～

海南市 総務部 危機管理課

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂11番地

電話：073-483-8406 ファックス：073-483-8483

メール：kikikanri@city.kainan.lg.jp